

「昔より副作用の少ないステロイドが出ている」と
いう医者に対する意見を書かれています。

「松本医院でのリウマチとヘルペス治療」

加藤利江子 65 歳

2015 年 11 月 24 日

今年 4 月中旬、朝起きると左足膝の後ろに妙な張りがあり、右肩に痛みがあるのに気づきました。「あれ？」と思いながらも年齢的にガタもくる頃だし、寝相が悪かったのかもと思っていました。2、3 日後には、少し歩いただけで左膝が後ろを指でギュっつと押さえないと歩けないほど張って、肩も痛くて回せなくなりました。私はその時、10 年前に松本先生から言われた事が、頭をよぎり、「もしかしてリウマチ・・・」と思いました。

私は 10 年前に微熱、両手足の関節の腫れと痛みで、総合病院 2 カ所(そのうちの 1 箇所では 1 ヶ月入院)と個人医院を受診しました。入院した病院では MRI、レントゲン、血液検査に加え、リンパ腫の生体検査まで受けたにも関わらず病名が判明せず、最後に松本医院にたどり着きました。そして、そこで松本先生に「あなたはバリバリのリウマチや」と言われたのです。(その後、約 5 カ月余りの治療で発症前の状態に戻りました)だから、「今回の関節の張りや痛みもリウマチの再発かも」と思ったのです。そして、今回も松本先生に診てもらおうと思い、10 年ぶりに松本医院を訪れました。

医院のドアを開けると、忘れていた漢方の匂いと待合室まで聞こえてくる先生の元気(?)な声が出迎えてくれました。診察室で症状を説明すると「ヘルペスや。最近ストレス感じることなかったか?」と言われました。

認知症の母を引き取ってからの 5 年間の生活や、姉のように慕っていた叔母との別れ(今年の 4 月没)によって、知らぬ間にストレスを感じていたのかもかもしれません。

2015 年 6 月

日常生活も辛くなる程の身体のだるさと足、肩、手指の腫れと痛みがありました。

2015年9月

起床時にはこわばりがあるものの、日中は病気を忘れてしまうほど身体が動き、家事も難なくこなせるようになりました。

先月母を連れて某医院へ行った時、何の話からか「私がリウマチで漢方治療をしている」と医師に話す流れになりました。その話を聞いて医師は「漢方ですか。ステロイドも昔は副作用もありましたが今は副作用も少なくいい薬が出ていますよ。」と言われました。それを聞き私は「ステロイドは今も昔も変わっていないと思っています。ステロイドは病を治すのではなく症状を押さえ込んで、体が楽になったと思わせるだけの薬ではないのですか？もし私が10年前にステロイド治療を受けていたら、何事もなく友達と旅行や食事会に行き、コンサートではじけるなどして楽しんできた、この10年間は決してなかったでしょう。今もずっと薬を飲み続け、もしかしたら普通に日常生活を送っていないかもしれない、寝たきりになっていたかもしれない。考えると怖いです」と言いました。それを聞いても医師は「そうですか。でもリウマチは治る病気ではありませんよ。」と言いました。私は心の中だけで「いいえ、リウマチは治ります。10年前に、あなたの診察を受けなくて正解でした。」と反論しました。

松本先生がいつも言われる言葉は、「病気は自分が治すもの。医師と薬はその手助けをしているだけ。」です。

10月の血液検査では、CRPが0.05以下になりました。あともう少しです。心穏やかにして私が頑張ります。ありがとうございました。

	2015/4/22	2015/6/23	2015/7/22	2015/9/2
血沈	1	19	15	11
CRP	0.05以下	0.9	0.59	0.06
MMP-3		861.2		83.6